

嶋原凜(しぎはら りん)さんが、札幌市で行われた日本カーリング選手権軽井沢クラブのジュニアチームの代表として初出場しました。国内最高峰の舞台に挑戦した嶋原さんに大会についてそしてカーリングの魅力についてお聞きしました。

—この度は全国大会出場おめでとうございます！全国大会はどうでしたか。

嶋原さん:ありがとうございます！とても楽しかったです。全国レベルの強いチームの人たちとも闘うことができ、自分の課題が見えました。そして自分たちのチームの強みも出てきました。コロナもあけて、初めて観客がいる大会でした。良い意味で、客席の距離も近くて、全国ならではの緊張感もありました。それも含めて楽しめました！

—カーリングはいつ頃からやっているのですか。

嶋原さん:4歳からやっています。軽井沢にその頃、東京から引っ越してきました。そして祖父と一緒にカーリングの体験教室に行って実際にカーリングをやってみて、すごく楽しかったんです。それで、やってみようということになりました。

—週にどのくらい練習をしていますか。

嶋原さん:氷上での練習が週に3、4回あります。それから週に1度、トレーニングをやっています。土日は練習試合をやっています。

—カーリングの魅力を教えてください。

嶋原さん:カーリングの面白いところは、試合中に何が起るか予想ができないところだと思います。作戦通りにいくこともあるし、失敗することもある。でもまず作戦を練ります。どんな作戦で行くのか考えるのもとても楽しいです。また、どの年齢の人でもできるのが魅力だと思います。しかし、ルールも多くて難しいし、道具も高価なので、競技人口が少ないのです。そのことがカーリング界では課題になっていると思います。

—これからの目標を教えてください。

嶋原さん:これからの目標は、日本ジュニア選手権で優勝することです！将来は、どんな仕事に就いても、カーリングを続けていきたいです。そして、カーリングのすばらしさを広めていきたいと思っています。